

プログラム

まとめ

日本アイ・ビー・エム株式会社 専務執行役員 内永ゆか子
(環境委員会委員長)

CSRをベースに新たな環境価値の創造へ向けた市民と企業のコラボレーションを継続

本日はご多忙中、「IBM環境シンポジウム2004」にご参加いただきまして、本当にありがとうございます。約350名の方々にご参加いただくことができました。閉会にあたり、参加者の皆様、そして講師の先生のみなさまに心から感謝申し上げます。私はシンポジウムのまとめをすることになっていますが、ただいまの辻井先生のお話が大変きれいにまとまっており、「まったくそのとおり」と共感した次第です。

今年で5回目にあたる環境シンポジウムですが、私どもはこれをさまざまな地域で展開してまいりました。環境は地球規模の問題であっても、一人ひとりが足もとから実行していかなければならないという観点から、各地域の活動と連携させていただきながら、私どもの環境活動の一環としてこのシンポジウムに取り組んでおります。今回はこういった趣旨のもと、北海道札幌市で開催させていただきました。高橋はるみ北海道知事、上田文雄札幌市長をはじめ、地元各界の方々から北海道ならではの循環型社会形成についてご紹介をいただきました。

日本IBMでは、社内で定期的に環境委員会を開いております。私どもはこの委員会で、企業人として、また市民としてどのように環境に取り組んでいけばいいかということを検討しております。私はこの4月に委員長に任命されましたが、環境への個人としての認識はまだまだ足りなかったと感じております。

企業の環境活動は、従来型の経済効率を狙ったものから、人間として生きていくうえでひとつの価値を生み出す方向へと、新たな展開を遂げつつあります。21世紀はそうしたビジネスにとって芽吹きของ時期でもあり、企業としてはどれだけ早くその課題に取り組んでいくかが重要になってくると思います。

さらに、それは一企業だけでできるものではなく、さまざまな立場の方々とのコラボレーションがあって初めて実現可能なものです。こうした市民と企業のコラボレーションを進めるためには、CSRがますます大きな基盤になってくるのではないかと思います。

今後も環境に対する取り組みを皆様方とともに進めさせていただくうえで、今回のシンポジウムがひとつのステップとなることを願いつつ、私のご挨拶に代えさせていただきます。本日はまことにありがとうございました。

